

三和区

『第60号 2026.09』

地域協議会だより

発行：三和区地域協議会

編集責任者：三和区地域協議会

会長 高橋 鉄雄

編集委員：宮嶋 久登

宮澤 克己

松栄 由里

事務局：三和区総合事務所

(総務・地域振興グループ)

TEL 025-532-2323

FAX 025-532-2623

sanwa-ku@city.joetsu.lg.jp

10月25日(日)「三和まるごと味覚祭」を開催します ぜひお越しください！

三和区地域協議会では、「三和の自然環境を守りながら、持続可能な農業を目指す取組」について自主的に審議してきました。審議する中で、三和区の農業の活性化に貢献すること、生産者を元気にすること、三和区内外の方に三和産農産物を知ってもらい、味わい、買っていただくこと、生産者と来場者との交流を通して、三和の食のファンになっていただくことによって、次世代が三和の魅力を再認識し、農業の担い手づくりにつながると考えました。その一歩として、「三和まるごと味覚祭」を開催します。

主催する「三和まるごと味覚の会」では、三和区の方はもちろん、たくさんの市民の皆様からお越しいただき、三和の秋を満喫してもらおうと、準備を進めています。

キッチンカーやお子様が楽しめるコーナーもありますので、ぜひご家族・お友達とお気軽にお越しください！

◆◆◆『三和まるごと味覚祭』◆◆◆

日時 令和8年10月25日(日) 午前9時～午後3時

会場 三和ふれあいホール(ゲートボール場：島倉)

- 内容
- ・三和産の美味しい農産物や加工品の販売
 - ・新米1kgやスイーツなどが当たる来場者抽選会
 - ・もちつき体験、花寿し・しめ縄づくり体験
 - ・三和区の宝である郷土民俗芸能の披露
 - ・三和小2年生が育てたおぼけかぼちゃも展示
 - ・スイーツやキッチンカー(たい焼、カレー)も！

三和まるごと味覚祭2026の情報をInstagramで紹介しています。三和区の自然や見どころ、イベントも発信しています。



令和8年度上越市地域独自の予算事業を活用しています。

11月28日（土）「防災に関する勉強会」を開催します

三和区地域協議会では、地域で起こり得る災害を正しく理解し、自らの命を守るための備えや地域での防災について学ぶ勉強会を開催します。

◆◆◆～災害を知り、被害を避けて、すこやかに生きる～◆◆◆

■日時 11月28日（土）午後2時～午後4時

■会場 三和地区公民館2階講堂 入場無料、事前申込不要

■講師 山縣耕太郎氏（上越教育大学大学院 学校教育研究科教授）

【主な経歴】新潟大学、富山大学、京都大学等非常勤講師

国土地理院治水地形判定委員会委員、関川流域委員会委員

上越教育大学附属中学校校長などを歴任

【主な研究内容】火山噴火史、地形発達史、環境問題、災害に関わる研究、地理教育、防災教育に関わる研究



令和9年度 上越市地域にぎわい事業補助金 提案事業募集中！

市では、持続可能な地域づくりを推進するため、各地域自治区におけるまちづくりを地域住民が主体的に考え、地域の様々な団体が連携・協働して行う活動に対し、補助金を交付します。まずは三和区総合事務所総務・地域振興グループにご相談ください。

■募集期間 令和8年9月1日（火）～12月28日（月）必着

■補助額 補助対象経費から参加費等の活動実施に伴う収入を差引いた額
三和区の上限額660万円を超過することはできません。

■補助率 10/10以内（千円未満切り捨て）

提案状況や地域協議会での評価等によっては10/10を下回る場合があります。

■その他 詳細は右のQRコードからパンフレットなどをご覧ください。

■問合せ先 三和区総合事務所 総務・地域振興グループ地域振興班（TEL 025-532-2323）



<市ホームページ>
パンフレットはこちら
からご覧ください

今回が最後！ えちご・くびき野 100 kmマラソンの応援をお願いします

10月11日（日）に、えちご・くびき野 100 kmマラソンが開催されます。今回は50 km、100 kmの他に50 kmずつ2人で走るペアリレーの部門が設けられました。三和区は100 kmコースに参加するランナーが駆け抜けます。今回が最後の開催となりますので、皆さんのあたたかい声援をお願いします。

※地域協議会では、区実行委員会に委員を選出しています。

通過町内	広井→下広田→ 上広田→岡木
通過予定時間	12:20～17:30

編集後記

稲穂の実りに秋の気配を感じます。地域協議会では地域の活性化に向けての取組について検討していますが、その一つとして「三和まるごと味覚祭」を開催します。三和区で生産された農産物の販売を通して地域住民の交流の活性化を図り、三和区を盛り上げていきたいという思いがあります。ぜひ多くの皆様のご来場をお待ちしております。

編集委員 宮嶋 久登